

社団法人 日本コンサルティング・エンジニア協会

平成 23 年度事業計画

1. 事業方針

我が国の新成長戦略の一環として国際化の一層の進展と国内における社会経済状況の構造的変化に伴って、わが国コンサルタントの海外への進出の促進とともに国内産業においても国際的な視点に立った対応が求められている。現在、わが国で進められている公益法人制度改革においては、当協会は公益社団法人としての申請を前提とした活動を継続することとする。

また国際コンサルティング・エンジニア連盟（FIDIC）の会員協会として、広汎な分野のコンサルティング・エンジニアの社会的地位の向上を図り、以ってわが国の科学技術・産業経済の繁栄に寄与するため、次の方針の基に当協会の平成23年度の事業を実施する。

- (1) 【技術振興・研修事業】セミナーや異業種交流等の研修事業を通じて、継続的にコンサルティング・エンジニアの資質向上に資すると共に、協会活動の理解を求め、その普及に努める。

FIDICおよびその会員協会の活動の紹介や国際的契約約款等の刊行物ならびにその邦訳版や解説版の作成と頒布を会員、会員外に行い、コンサルティング・エンジニアの技術の振興を図る。

FIDIC加盟協会との若手エンジニアの交換研修により国際的な人材の育成を図る。

海外における事業の紛争解決のための裁定人（アジュディケーター）の育成と登録制度を発足する。

- (2) 【情報収集・提供事業】海外調査あるいはFIDIC加盟協会を通じた情報収集を行い、定期刊行物やホームページによる広報活動を通じて日本のコンサルティング・エンジニアの発展に寄与し、あわせて世界に日本のコンサルティング・エンジニアの技術・活動・思考を広める。

- (3) 【国際連携推進事業】わが国唯一のFIDIC加盟協会およびFIDIC理事選出協会としてコンサルティング・エンジニアの地位強化と発展のために、FIDIC及びその加盟協会との緊密なネットワークを活用した国際相互理解の促進を図ると共に関連機関、他の関連協会との連携強化に努める。

また、FIDICのアジア・大洋州地域活動母体であるASPACに理事を選出している協会として加盟各国協会との交流を深め、この地域におけるビジネス環境の整備等共通課題への取組みを促進する。

- (4) 【コンサルティング事業】わが国コンサルティング・エンジニアの海外進出に関して契約約款や海外市場の動向に関する相談、助言を行う。

- (5) 【協会運営】協会活動の発展を図るために、財務体質の強化、会員の拡大、組織運営体制の強化のための諸施策を実施する。公益法人改革においては、当協会の基本方針を決定し具体化を図る。

2. 事業内容

(1) 技術振興・研修事業

- (ア) 【年次セミナー】コンサルタントの国際展開への取組み等をテーマとしたセミナーを7～8月頃に開催する。
- (イ) 【FIDIC大会報告会】2011年FIDICチュニス大会の内容を報告するセミナーを10～11月頃に開催する。
- (ウ) 【技術交流】異業種技術者間の相互理解を深めるための懇談会を定期的に行い、同時に、その成果を発表するセミナーを11～12月頃に開催する。
- (エ) 【出版物】FIDIC Red Book87年版からMDB版/99年版への変更点解説資料を作成し、その内容を説明するセミナーを実施する。また、ホームページ上で刊行物を紹介し、その理解と普及に努める。
- (オ) 【日豪交換研修(YPEP)】今年度は10月頃に豪州協会会員企業の青年技術者数名を受入れ、AJCE会員企業にて実務研修を実施する。研修期間中に豪州研修生と国内の若手技術者の討論会を開催する。
- (カ) 【学生向け】大学への出張講座等によりコンサルティング・エンジニアの活動状況を紹介する。
- (キ) 【アジュディケーター育成・登録】海外における事業の紛争解決のための裁定人(アジュディケーター)の育成と登録制度を発足させ、その普及に努める。

(2) 情報収集・提供事業

- (ア) 【調査・研究】海外調査等を通じて、FIDIC及びその会員協会との情報交換を促進し、コンサルティング・エンジニアの取組むべき課題について、国際的視点で問題を掘り下げ、わが国コンサルティング・エンジニアの国内外での活動基盤を充実させ、量的・質的に貢献を計る。
- (イ) 【会報・News Letter】AJCE会報を年3回、News Letter(英文会報)を年1回発行し、コンサルティング・エンジニア活動紹介、出版物紹介の充実及び普及を図るとともに、これらをホームページ上に掲載し、一層の利便を図る。
- (ウ) 【協会活動の紹介】日本語版・英語版ホームページに協会および会員活動、我国のコンサルティング・エンジニアに関する情報を掲載し、内外に発信する。

(3) 国際連携促進事業

- (ア) 【海外技術交流】FIDICの各専門委員会にAJCE会員が委員として参加し、FIDIC並びにコンサルティング・エンジニア業界の健全な発展を積極的に支援する。また、日本選出のFIDIC理事の活動を支援し、FIDIC運営に寄与する。
- (イ) 【FIDIC大会派遣】2011年9月にチュニジアのチュニスで開催されるFIDIC年次大会に参加し、日本を代表して講演やワークショップへ参加するとともに、FIDIC大会運営及びFIDIC活動を支援する。
- (ウ) 【ASPAC活動】ASPAC理事を選出している協会として、加盟協会との情報交換を行い、交流の促進と地域における課題に取り組む。2011年9月にチュニジアのチュニスで

開催されるASPAC総会等へ参加する。

(エ)【FIDIC加盟協会との交流】交流促進の覚書を締結している韓国、ウズベキスタン、アゼルバイジャンや覚書締結を予定しているベトナムなどのFIDIC加盟協会との交流促進を図る。

(オ)【関連協会との連携強化】(社)建設コンサルタンツ協会、(社)海外コンサルティング企業協会、(社)国際建設技術協会、(社)日本技術士会など関連協会などとの連絡協議を開催し、共通する課題解決への取組みを行う。

(4) コンサルティング事業

わが国コンサルティング・エンジニアの海外進出に関して契約約款や海外市場の動向に関する問い合わせ等について、面談やウェブを通じてアドバイスや関連する書籍の紹介を行う。

(5) 協会運営

(ア)【会員増強】各種セミナーでの勧誘や大学の出張講座などを通じて普通会员・企業内個人会員の増強に努める。

(イ)【公益法人改革への取組み】公益法人移行を目指して、定款の改定や関連規則の変更等の作業を進め、今年度に移行申請を行う。